たっぷりほめる
しっかりしかる
教育のページ

教育を大切にする村づくり

教育長　廣瀬　要人

この度、任期満了に伴い、３月末日をもって教育長を退任することになりました。村民の皆様方のご支援・ご協力に心から感謝と御礼を申し上げます。皆様方が必死で頑張っている最中での退任、大変心苦しく思っています。

平成21年４月から１期４年の在任でありましたが、この間教職員に一貫して訴えてきたことは「までい教育」です。「までい教育」とは、「あら探しの教育ではなく宝探しの教育、減点法の教育ではなく加点法の教育」を丁寧に、手を抜かず、愛情込めて実践することです。この思いが、ようやく飯舘村の教職員に浸透してきたことを嬉しく思っております。

この４年間は、ラオスの学校建設、公認マラソンコースの設置、いいたて絵本リレー事業や移動図書館車事業の推進、「沖縄でのまでいの旅」や中学生の海外研修の実施、震災に伴う学校の川俣町への移設、そして仮設幼小中学校・預かり学童保育施設・学校給食センター等の建設、文化祭の再開、放射線教育の推進等々激動の４年間でした。

私は、学校を村外に移設する時に保護者と子ども達に約束したことがあります。それは「学校は放射線量が低く飯舘村に近いところに設置する」「子どもは親元から通学させる」ということでした。この約束は混乱の最中の保護者と子どもにどんなに安心感を与えたことか。平成23年度の飯舘村の幼小中学校の平均就学率は70％でしたが、他の被災市町村はこの飯舘村の就学率の高さに驚いていました。村民の村への信頼の証しです。

村の復興の鍵は一にも二にも教育です。教育を大切にする村は永遠です。

廣瀬要人教育長が退任

平成21年４月１日から平成25年３月31日までの４年間、教育長を務めた廣瀬要人氏が、任期満了に伴い退任しました。

子育て相談室

子どもたちの心に気づく

この2年、私は、主に中学校に滞在しながら、時間をみては幼稚園と小学校を訪ねています。子どもたちは本当に健気です。しかし、よく観察しますと、表情はどこかさびしそうであり、「どう、元気?」と尋ねたりしますと、子どもによっては涙ぐんだりします。

私たちは、子どもたちの目に見えない心に気づく必要があります。例えば、孤立感という独りぼっちという心情への気づきです。それは助けのないさびしさをひしひしと感じ続けているという心持ちですが、これが解決されないと孤立恐怖という感覚に陥ります。

孤立感は人と人との絆や連帯感を失わせます。また幼児に活力ある遊びを成立させませんし、小・中学生に学習やスポーツに真剣に取り組む意欲をかき立てません。私たち大人には、わが子に、身近に出会った子どもたちに、ためらわず親切な声をかける役割が課せられています。新しい年度、今まで以上に子どもたちの心に気づき、寄り添う決意を固め、実行に移そうではありませんか。

飯舘中学校スクールカウンセラー
臨床心理士　海野　和夫

教育相談申し込み
飯舘中学校☎０２４-５７３-１１６１
幼児、小学生の相談にも応じます。

村の子どもたち　学び舎から巣立つ

3/1 相馬農業高等学校 飯舘校
3/13 飯舘校飯舘中学校
3/18 草野・飯樋幼稚園
3/22 草野・飯樋・臼石小学校

村の小中学校で卒業証書授与式が、幼稚園で修了式が、相馬農業高等学校飯舘校では卒業式が行われ、合わせて134人が学び舎を巣立ちました。

震災後、校舎の移転や避難しながらの通学などの困難を乗り越え、仮設校舎・園舎が完成してはじめての卒業生・修了児は、たくさんの支援に対する感謝と、感動の涙や笑顔で卒業しました。

▲仮設校舎体育館での卒業証書授与式のようす（小学校）

▲卒業証書を受け取る卒業生（小学校）

▲卒業証書を保護者に渡す卒業生（中学校）

▲答辞を述べる杉岡蓮さん（相農飯舘校）

▲修了証書を受け取る修了園児（飯樋幼稚園）

平成 24 年度　卒業人数

草野・飯樋幼稚園	29 人	草野・飯樋・臼石小学校	40 人
飯舘中学校	36 人	相馬農業高等学校飯舘校	29 人